

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府泉佐野市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	泉佐野市文化遺産活用活性化計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>泉佐野市には、国宝慈眼院多宝塔をはじめとする建造物や美術工芸品などの有形文化財、国史跡日根荘遺跡、重要文化的景観「日根荘大木の農村景観」の他、無形の民俗文化財など、数多くの特色ある文化財が所在している。こうした文化財は、未指定のものも含めて、泉佐野市の貴重な文化遺産である。</p> <p>一方で泉佐野市は大都市近郊でかつ関西空港を有する交通至便な場所に位置し、地域の活性化の観点からもこうした文化遺産の活用が望まれているところである。そこで、市内に所在する文化遺産を積極的に活用することにより、地域の活性化へつなげるために、泉佐野市総合計画の他、市の各種計画に基づき、以下の事業を実施する。</p> <p>本事業の実施により、市民がふるさとの文化遺産にふれる機会を充実させるとともに、未知の文化遺産の掘り起こしを進め、より市民に親しまれる文化遺産となるよう取り組みを進める。また事業に参画する文化財保存団体及び関係諸団体間の交流と連携を促進し、新たな事業創造へ向けて体制作り等の検討を行う。</p> <p>市内の民俗芸能については、地域の伝統的行事の減少、後継者確保の困難さ、用具の経年劣化に対応する経費不足など各団体共通の課題を抱えている。本事業における用具の修理・新調等について保存団体の経費負担を軽減することを目指した、年次計画を早期に策定する。</p>			
6 実施体制			
<p>本計画については、泉佐野市（泉佐野市教育委員会）が、全体計画の企画、調整、事業等の指導を行う。</p> <p>主な担当課と役割 教育委員会 文化財保護課：補助事業の調整、文化財の取扱、伝承教室等に関する調整等 生活産業部 まちの活性課：観光関連業務に関する指導</p> <p>補助事業の実施については、次の団体が実施予定 泉佐野市文化遺産活用活性化実行委員会（委員長：奥 真弥） 構成団体：泉佐野市観光協会、泉佐野観光ボランティア協会、大木町内会（上大木・中大木・下大木）、日根神社まくらまつり保存会、北中連合地域文化遺産総合活用推進実行委員会 他</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 54,677 千円	平成31年度要望額： 11,665 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識の向上を図ることができ、地域の文化遺産の保存、次世代への継承をより充実させることが期待される。さらに地域の文化遺産に関係する市民、保存団体、行政等の連携・協力・協働体制を構築することで、幅広く文化遺産を地域の活性化に活かす意識が共有される。また、関西空港の地元であることを活かし、来訪者の増加と満足度の向上に寄与することで地域の活性化に寄与することができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>歴史文化基本構想は平成30年度策定し、平成31年度は地域計画の申請を行い2年計画で実施予定である。また歴史的風致維持向上計画の策定に向けて検討を進めて行く。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	泉佐野市教育委員会 文化財保護課 文化財係		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	ボランティアガイドの活動者数	関連事業:		①		
目標値1:	【現状値】平成28年度61人 ⇒ 【目標値】平成33年度85人					
設定根拠1:	泉佐野ボランティアガイド活動者数 新人教育(5年未満者:28人)、中堅教育(5年以上者:33名)、計61名。毎年6人の新規入会で設定。					
進捗状況1:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
61人	61人	人	人	人	人	
0%	0%					
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	大木地区担いダンジリ祭礼行事への参加住民数	関連事業:		②		
目標値2:	【現状値】平成28年度9人 ⇒ 【目標値】平成33年度21人					
設定根拠2:	大木地区祭礼の技術継承に関して、毎年3人増加を目標とする。					
進捗状況2:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
12人	15人	人	人	人	人	
25%	50%					
目標区分3:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	祭礼準備から曳行に至る中で、その運営に関わる住民数	関連事業:		④・⑤		
目標値3:	【現状値】平成31年度100人 ⇒ 【目標値】平成33年度120人					
設定根拠3:	平成30年度から加支多神社秋の禮大祭の参加者者数を毎年10人増やす。					
進捗状況3:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
人	100人	人	人	人	人	
	0%					
目標区分4:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分4:	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標4:	保存団体への新規入会者数	関連事業:		③		
目標値4:	【現状値】平成29年度50人 ⇒ 【目標値】平成33年度60人					
設定根拠4:	日根神社まくらまつり保存会の会員を毎年3人程度増やす。					
進捗状況4:	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	
50人	53人	人	人	人	人	
	30%					

目標区分 5 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 5 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 5 :	郷土芸能における来場者数の増加			関連事業:	⑥	
目標値 5 :	【現状値】 平成 28 年度 4,800 人 ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5,625 人					
設定根拠 5 :	平成27年度から28年度の伸び率0.5%を例年の伸び率として設定。					
進捗状況 5 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
5,000 人	人	人	人	人	人	
24%						

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	地域文化遺産と観光ボランティア活動の紹介	実施団体：	泉佐野観光ボランティア協会			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	関西空港を利用する日本人、外国人向け観光客向けの「インバウンド」など、国内外の多くの人に泉佐野市の文化的遺産をわかりやすく紹介できるパンフレットや紙芝居などを作成する。					
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	地域の文化遺産の紹介、紙芝居作成及び協会の活動を紹介するパンフレットの作成					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 100 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 300 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
事業②：	観光ボランティアガイドの人材育成	実施団体：	泉佐野観光ボランティア協会			
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	関西空港を利用する「着地型」日本人、外国人向け観光客向けの「インバウンド」観光を推進するために、国内外の多くの人に泉佐野市の文化的遺産をわかりやすく紹介できる人材を育成する。また、養成講座のレベルアップを図り新たな人材確保を推進する。					
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	泉佐野ボランティアガイド活動者数 新人教育（5年未満者：28人）、中堅教育（5年以上者：33名）、計61名。毎年6人の新規入会で設定。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 61 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 86 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
61 (単位)	67 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
0%	24%					
事業③：	大木地区担いダンジリ継承事業	実施団体：	大木町内会			
事業区分：	後継者養成	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	大木地域の伝統文化である担いダンジリの祭具（コモ）の製作や、カラクリ操作方法、御簾や泥幕の取付方など、技術継承に関しても力を入れて取組むことで、文化財指定されている「行事」として継承につなげる。					
評価指標区分：	・保存会への新規入会者数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	大木地区祭礼の技術継承に関して、毎年3人増加を目標とする。					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 35 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 55 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
35 (単位)	38 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
0%	15%					

事業④：	日根神社まくらまつり継承事業					実施団体：	日根神社まくらまつり保存会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	非常に珍しい形態の祭礼日根神社のまくらまつりを若い世代や子供たちに受け継いでいくために巡行時の音頭やまくらの作り方を伝授、指導する教室を開催し、祭礼の後継者として育成し、保存会への加盟を促す。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	毎年3人程度増やす。										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 50 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 60 (単位)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
50 (単位)	50 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						
0%	0%										
事業⑤：	北中連合地域禮大祭文化遺産記録作成事業					実施団体：	北中連合地域禮大祭文化遺産実行委員会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	加支多神社秋の禮大祭にて今回修復する山車を曳行する為の祭礼準備風景及び地域の子供達にお囃子継承の為の子供太鼓教室など、祭礼曳行状況及び山車修復に辺り、加支多神社秋の禮大祭や貝田山車の伝承を永久記録する為に必要な映像記録の製作を行う。										
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	平成30年、府内各主要図書館109施設、1施設月3回貸出に付×109施設=327回貸出予定、→平成31年327回貸出予定。ネット配信動画に関しては年間1000回以上の視聴を予測										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 0 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 327 (単位)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 (単位)	0 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						
0%	0%										
事業⑥：	北中連合地域禮大祭文化遺産貝田山車用具整備事業					実施団体：	北中連合地域禮大祭文化遺産実行委員会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	泉佐野市の歴史的、文化財価値のある昭和初期製作の山車は経年劣化等による損傷が著しく、現在の劣化状況から見て、安全曳行を保ちながら禮大祭に今後継続して使用することは難しく、修復するとしても、大部分の劣化部分の材料を交換することになり、現存の形式を保ち、山車構造の劣化部分(屋根・彫刻)の部材修復を計画する。詳細改修内容として1、大屋根・小屋根桁組修復 2、虹梁修復 3、木鼻 4、彫刻欠損及び彩色復元 貝田地区所有の山車修復に関しては、製作作業過程を通して地域の伝統文化を伝える資料と行事の継続と継承を推進する。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	祭禮準備から曳行に至る中で、その運営にかかわった住民の数(炊出し・準備・祭礼帰省者含む)										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 100 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 120 (単位)										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
100 (単位)	100 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)						
0%	0%										

事業⑦：	泉佐野市郷土芸能による地域活性化促進事業	実施団体：	泉佐野郷土芸能の集い実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ~ 平成 33 年度			
事業概要：	泉佐野で伝承される盆踊りを一堂に会し、市指定無形民俗文化財「佐野くどき」の実演披露の他、民俗芸能保持団体による披露を行う。また、広く郷土芸能を体験し、関心を高めてもらえるよう観覧者が参加可能なイベントとして開催する。					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	郷土芸能における来場者数の増加					
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 5,000 (単位) ⇒ 【目標値】 平成 33 年度 5,625 (単位)					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
5,000 (単位)	5,175 (単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
0%	28%					